町消防団に国内最高栄誉

日本消防協会の特別表彰「まとい」受章

長年にわたる熱心な消防活動をはじめ、救助活動、全国消防操法大会での活躍などが高く評価され、仁淀川町消防団が（財）日本消防協会（片山虎之助会長）の特別表彰「まとい」を受章しました。

特別表彰「まとい」は、日本消防協会の表彰旗を受けてから十年以上抜群の成績を維持し、消防庁長官表彰（表彰旗）の受章歴、全国消防操法大会への出場歴のあることなど厳しい条件があり、全国二千三百十二の消防団の中から十団体のみ選ばれる、国内消防団の最高の栄誉とされています。

表彰式は二月十日に東京都で行われ、藤原芳男団長、西森満生副団長らが出席しました。

3月25日　仁淀川町観光センターで「仁淀川町消防団〈特別表彰まとい〉受賞祝賀会」が行われ、大石弘秋町長はじめ参加者百三十六人が快挙を喜び祝いました。

会では藤原団長が「町民の皆さまの温かいご支援と、歴史と伝統を築いてくれた諸先輩方、団員を影で支えてこられたご家族のおかげです。今後も町民の生命と財産を守るため、一致結束して活動していきたい」と謝辞を述べました。

町消防団の主な受章歴と成績

日本消防協会表彰旗受章

昭和 39 年 2 月 11 日　（仁淀村消防団）
昭和 56 年 2 月 11 日　（池川町消防団）
平成 3 年 2 月 13 日　（吾川村消防団）

消防庁長官表彰旗受章

昭和 57 年 3 月 3 日　（仁淀村消防団）
平成 9 年 3 月 5 日　（吾川村消防団）
平成 16 年 2 月 11 日　（池川町消防団）

県消防操法大会成績

・優勝回数　9 回

全国消防操法大会成績

・出場回数　6 回　　・入賞歴　4 回

春風を受けて12チームが力走！

2月21日　第三十一回吾川・第二十五回仁淀川駅伝競走大会が、寺村西浦～上仁淀川橋～長屋～役場本庁の七区間、二十二・八キロで行われ、十二チームが参加し健脚を競いました。

吾川の部では、五選手が区間賞を獲得した「高吾北広域」が優勝、仁淀川の部では三選手の区間賞をはじめ、全員が上位の力走を見せた「佐川中A」が優勝しました。

今大会仁淀川の部では、優勝した佐川中学校の選手のほか、「吾川池川中ソフトボール部A」の一区・上野留偉君（池川中）が区間賞とわずか二秒差の二位、同チーム六区・中内淳哉君（吾川中）が十四秒差の二位に入るなど、町内外の中学生が大活躍を見せました。

伝統の吾川・仁淀川駅伝競走大会

《成　　績》

	1　位	2　位	3　位
第３１回 吾　川	高吾北広域 1時間24分47秒	仁淀川町役場B 1時間34分58秒	仁淀川町役場A 1時間35分55秒
第２５回 仁淀川	佐川中A 1時間18分56秒	佐川高校ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ部A 1時間19分27秒	いの町 1時間20分53秒
第２５回 仁淀川（女子）	佐川中D 1時間45分41秒		

《区　間　賞》

区間	吾川駅伝		仁淀川駅伝	
１区 3.2km	中澤　賢一 （高吾北広域）	11分14秒	井上　勇一 （いの町）	10分37秒
２区 3.1km	山崎　幸彦 （仁淀川町役場B）	12分22秒	大野　皓哉 （佐川中A）	11分04秒
３区 2.8km	藤原　剛 （高吾北広域）	9分38秒	和田　淳也 （佐川中A）	9分58秒
４区 3.0km	堀田　庄治 （仁淀川町役場Ｂ）	11分42秒	小島　志郎 （佐川中A）	9分30秒
５区 3.9km	野々下直弥 （高吾北広域）	15分03秒	佐竹　喜延 （いの町）	12分18秒
６区 2.9km	神原　孝典 （高吾北広域）	11分08秒	国沢　明弘 （いの町）	10分37秒
７区 3.9km	吉岡　憂 （高吾北広域）	13分09秒	森本　裕也 （いの町）	11分55秒

桜苗木組合から吾川中1年生へ贈り物

宇宙桜の兄弟をプレゼント☆

２月23日　桜地区の住民らで組織している「桜苗木組合」の金尾大藏代表から、吾川中学１年生24人に桜の苗木が贈呈されました。

この苗木は一昨年の10月、スペースシャトル「エンデバー」で宇宙へ打ち上げられ、若田光一宇宙飛行士とともに帰還した桜の兄弟にあたります。同年５月「花伝説」に参加することになった生徒たち（当時小学６年生）が、桜地区の住民や関係者らと一生懸命集めた桜の種（黒い実）の残りを育てたもので、今回記念にと一人一人に贈られました。

最初に花が咲く目安は10年後くらいとのことで、金尾代表は「咲くまでに少し時間はかかりますが、大切に育ててほしい」と話され、受け取った生徒らの表情は誇らしげでした。

金尾代表（右から２人目）から素敵な贈り物を受け取りました

未来の自分へメッセージ「タイムカプセルin吾川じゃ」

２月25日　吾川中学校で「吾川笑いの里懇談会吾川じゃ会（大原哲夫代表）」主催の第15回「タイムカプセルin吾川じゃ」が行われ、卒業を間近に控えた小学校６年生（大崎小８人、名野川小４人）が参加しました。

大野敏光教育長や宮地豊宏吾川中学校長らが見守る中、20歳の自分へ宛てた手紙や写真など、思いのこもった品を詰めたタイムカプセルを、自分たちの手でグラウンドに埋めました。

８年後の成人式の日に開封される予定のタイムカプセル。成人を迎えた彼らが、晴れがましい笑顔で開封する光景が目に浮かぶようでした。

８年後が待ち遠しいね！

香北中が初出場で優勝

桜花杯ソフトボール大会

２月28日　吾川中学校グラウンドを主会場に第十七回桜花杯ソフトボール大会が行われ、吾川・池川中合同チーム、仁淀中、町外から招待した強豪四チーム（香北中、嶺北中、大正中、尾川・黒岩・明徳中合同）が晴天の下、熱戦を繰り広げました。

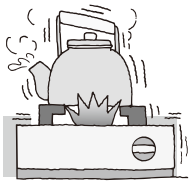
予選リーグＡ組では、三チーム（吾川、大正、嶺北）が勝敗と得失点差で並ぶ大接戦で、失点率により嶺北中が決勝に進みました。

決勝戦では昨年準優勝の嶺北中と初出場の香北中が全力を尽くして戦い、２－１のスコアで接戦を制した香北中が初出場・初優勝を果たしました。

優勝した香北中メンバー

優　勝　香北中学校
準優勝　嶺北中学校
第３位　大正中学校

火災予防呼びかけ町内巡回



防火標語「消えるまで　ゆっくり火の元　にらめっ子」

消防団防火パレード

２月28日　春の火災予防運動（３月１日～７日）に先駆けて町消防団が防火パレードを行い、藤原芳男団長以下35人（消防車両15台）が各方面隊に分かれて町内で火災予防を呼びかけました。

昨年は、町内で４件の火災が発生しました。まだまだ空気が乾燥し、火災が起こりやすい季節ですので、火の元には十分に注意してください。

町内全域を消防車両で巡回

いつまでも若々しく！健康福祉大会

3月4日　仁淀多目的研修集会施設で「第５回仁淀川町健康福祉大会」が開催され、民生委員児童委員　老人クラブ、ボランティア、福祉関係者ら約200人が参加しました。

当日は鈴木數秋社会福祉協議会会長の開会挨拶に続き、仁淀地区民生委員田村次男さんの「高知県民福祉信条」の朗読がありました。

また長年にわたり社会福祉の分野で功績のある個人および団体に対し、町長表彰並びに大会長感謝状の贈呈が行われました。

午前の発表では、ふたば保育所の４、５歳児12人による踊りや手話があり、大勢の人の前で園児らは少し緊張気味でしたが、元気でかわいい姿に会場は盛り上がりました。

福祉活動推進校の長者小学校３年生から「ぼくたち、わたしたちのだんだん」と題して、１年間を通じての地域交流について発表がありました。

昼食後「いきいき塾」清水武司塾長による講演「ココロとアタマの若さを保つ」がありました。若さを保つための３原則「常に頭を使うよう心掛ける」「毎日笑って快活に過ごす」「人々と積極的に交わる」を意識して行動することが大切であると、ユーモアを交えて話され、会場は終始爆笑の渦でした。

受賞者（敬称略）

・町長表彰

鎌倉　一一（前社会福祉協議会会長）

・大会長感謝状

加枝地区つくし会

山中　孝幸（民生委員児童委員）

船坂　一男（民生委員児童委員）

大野　孝美（民生委員児童委員）

長者小３年生の発表の様子

土佐茶をもっと飲もう！

大崎小3年生が土佐茶の研究

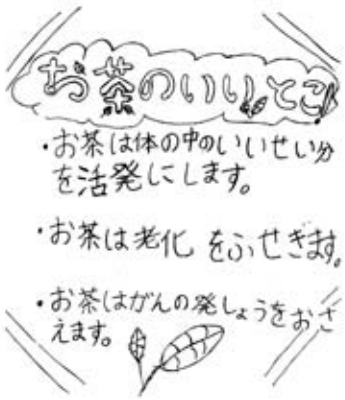
3月8日　仁淀川町役場で、大崎小学校三年生が「土佐茶を飲もう」をテーマに自分たちで勉強・取材した成果を、代表の岩本龍樹君、片岡拓巳君、田代麻衣さんが、大石弘秋町長らに発表してくれました。

三年生は七月に高知県農業技術センター茶業試験場で、職員の小島一郎さんから「お茶の入れ方」「摘んだ茶葉がどのように加工されるか」「健康にどんな効果があるか」など、様々なことを教えてもらい、自分たちも実際にお茶を入れ飲んでみたそうです。

他にも本やインターネットでお茶に関する事を調べ、その中で興味を持った「お茶のケーキ」を皆で作って食べてみて、とてもおいしかったそうです。

岩本君は「仁淀川町は土佐茶の産地なのに、お茶を飲む人がすごく少ないので調べてみようと思いました」と話してくれました。

今ではスーパーや自動販売機で気軽にペットボトルのお茶やジュースを買うことができますが、ご家庭でほっと一息、急須で入れたおいしいお茶を飲んでみませんか。



三年生が作製した「土佐茶を飲もう」の一部

前列左から岩本龍樹君、片岡拓巳君、田代麻衣さん。後列左から大石弘秋町長、片岡廣秋副町長